

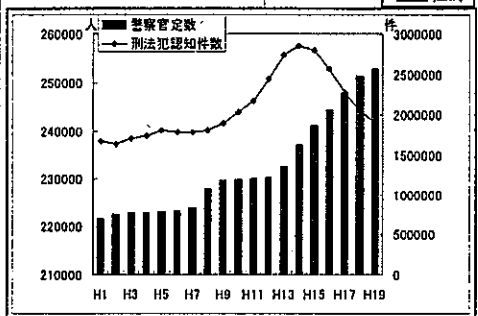
知事と部局長との議論資料

|      |        |
|------|--------|
| 部局名  | 公安委員会  |
| 担当課名 | 警務部警務課 |
| 担当者名 | 小竹 斎   |
| 内線   | 26107  |

【事務事業、出資法人、公の施設】

|        |   |
|--------|---|
| 項目名    | 【主要検討項目 28】警察官定数の削減   |
| 部局の考え方 | <div data-bbox="395 539 1449 869" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>現下の大阪の厳しい治安情勢等に鑑み、府民の安全と安心を守るためには、警察官の削減は到底受け容れることはできない。</p> </div> <p>【大阪の犯罪情勢の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人口10万人あたりの刑法犯認知件数は、東京を上回り全国最多</li> <li>② 街頭犯罪の認知件数が全国ワースト1<br/>府民の身近で発生する街頭犯罪の件数が、7年連続全国ワースト1</li> <li>③ 深刻な少年問題（犯罪の低年齢化）<br/>少年検挙・補導人員は全国最多 等</li> </ul> |
| 参考データ等 | 厳しい大阪の治安情勢（別添資料1～2のとおり）   |

# 近年の治安対策等の経緯

| 年     | 月   | 全国的な動き   | 刑法犯認知件数                                  |  |
|-------|-----|--|--|--|
|       |     |  | 全国                                       | 大阪   |
| 平成8年  |     |  | 戦後最高を更新<br>181万件<br>※以後7年連続で最高を更新        | 18万件   |
| 平成10年 |     |  | 200万件突破                                  |  |
| 平成11年 |     |  |  | 20万件突破<br>※以後、平成19年まで連続  |
| 平成12年 | 7月  | 警察刷新会議 ～ 「警察刷新に関する緊急提言」  |  |  |
|       | 8月  | 警察改革要綱策定<br>● 国民の身近な不安を解消するための警察活動の強化<br>・ 空き交番の解消<br>・ パトロールの強化                                   |  | ひたたり認知件数<br>10,973件<br>(ピーク)   |
| 平成13年 |     | 警察官政令定員の増員開始   |  | 32万件<br>(ピーク)  |
| 平成14年 |     |  | 285万件<br>(ピーク)                           |  |
| 平成15年 | 8月  | 緊急治安対策プログラム策定（警察庁）<br>● 街頭犯罪・侵入犯罪抑止総合対策の推進<br>・ 交番機能の強化<br>・ 地域警察官による街頭活動の強化                       | 政令定員約2万4千人増員（大阪には1680人配置）                |  |
|       |     | 9月   |  |  |
|       | 12月 | 犯罪対策関係会議が『犯罪に強い社会の実現のための行動計画』を策定<br>● 犯罪情勢に即した5つの重点課題<br>○ 平穏な暮らしを脅かす身近な犯罪の抑止<br>・ 空き交番の解消、交番機能の強化 |  |  |
| 平成16年 |     |  |  |  |
| 平成17年 |     |  |  |  |
| 平成18年 |     |  |  |  |
| 平成19年 | 4月  | 全国で「空き交番」を解消   |  |  |
| 平成20年 |     |  | 190万件<br>街頭犯罪認知件数<br>1～3月対前年比<br>7.121減少 | 21万件<br>街頭犯罪認知件数<br>1～3月対前年比<br>2.267件増加   |

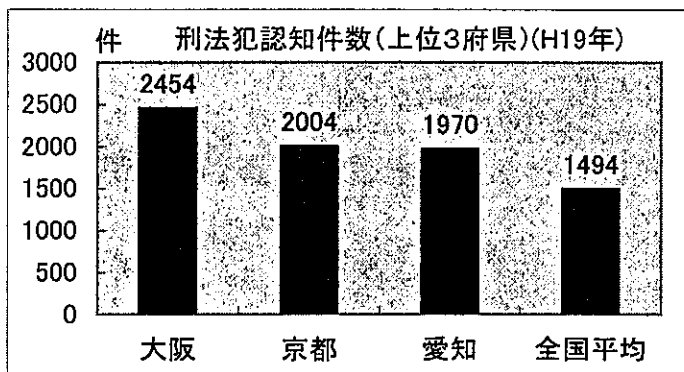
## 大阪府改革PT財政再建プログラム試案

### 警察官の定数520人(※)を削減

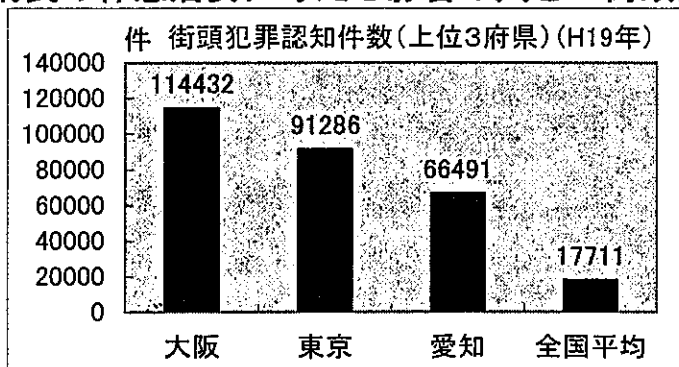
※ 道路交通法に基づく交通巡視員の権限を強化して、事故防止を徹底するために、条例の定めにより警察官に切り替えたもの。事故のみならず、犯罪の抑止にも寄与

### 現状及び考慮すべき点

- ◇ 厳しい大阪の治安情勢～犯罪抑止対策を一層強化する必要
- ・ 人口10万人当たりの刑法犯認知件数(全国ワースト1)

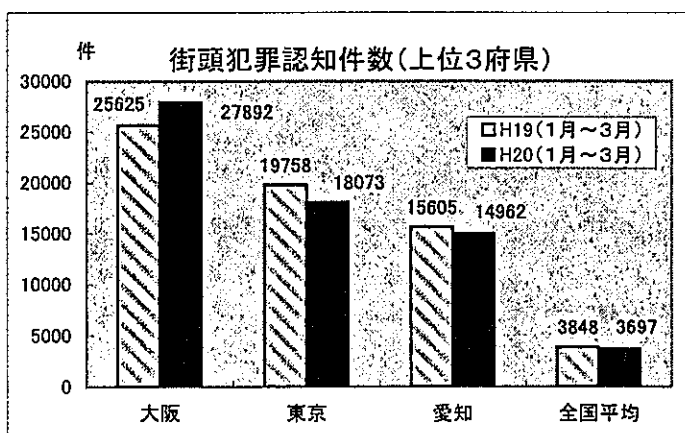


- ・ 府民の体感治安に与える影響の大きい街頭犯罪認知件数(全国ワースト1)



※ 街頭犯罪は、  
 ・ 路上強盗  
 ・ 自動車盗  
 ・ オートバイ盗  
 ・ 自転車盗  
 ・ ひったくり  
 ・ 車上ねらい  
 ・ 部品ねらい  
 ・ 自動販売機ねらい  
 を総称

- ・ 平成20年3月末の街頭犯罪認知件数は全国的に減少している中、大阪では増加(全国ワースト1)



- ・ 深刻な少年問題～少年検挙・補導人員は、全国最多

|    | H19           | H18     | H17     |
|----|---------------|---------|---------|
| 全国 | 121,128       | 131,604 | 144,234 |
| 大阪 | <b>10,886</b> | 11,542  | 12,068  |
| 東京 | 10,531        | 11,810  | 13,425  |

## 現状及び考慮すべき点

◇ 府民は「安全なまちづくり（防犯）」を強く求めている。  
（H19年度大阪府の府民意識調査報告書より）

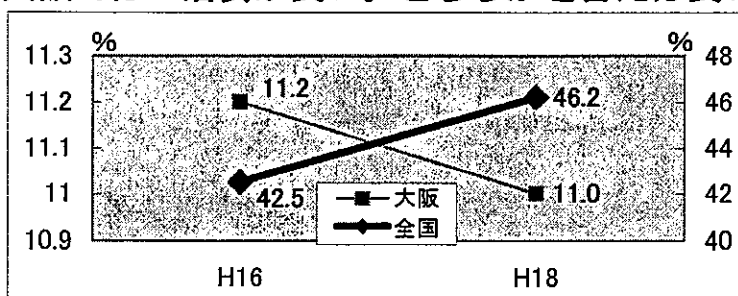
- ・ 大阪が悪い方向に向かっていると思われる分野

|   | 答え     | 比率    |
|---|--------|-------|
| 1 | 治安     | 49.4% |
| 2 | 社会的モラル | 45.8% |
| 3 | 交通マナー  | 43.8% |

- ・ 府政で特に力を入れて取り組んで欲しいこと

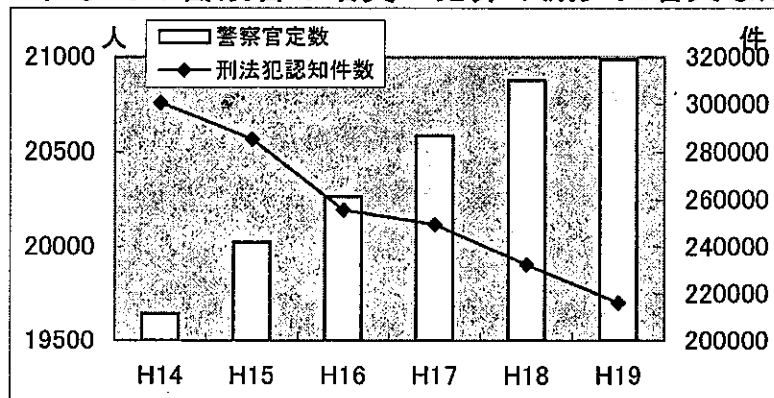
|   | 答え           | 比率    |
|---|--------------|-------|
| 1 | 安全なまちづくり(防犯) | 62.0% |
| 2 | 保健医療体制の整備等   | 44.0% |
| 3 | 高齢者対策        | 41.7% |

◇ 大阪では「治安が良い。どちらかと言えば良い」と答えた方が減少



※全国は、内閣府の「治安に関する意識調査」より  
※大阪は、大阪府の「府民意識調査報告書」より

◇ これまでの警察官の増員～犯罪の減少に着実な効果あり



※ 警察官1人当たり刑法犯負担件数は10.3件（全国平均7.5件）で全国ワースト3（H19年）

◇ 厳しい大阪の交通情勢～事故防止対策を緩めることはできない。

- ・ H19年中の交通事故による死者数 → 248人（全国ワースト5）
- ・ H20年4月11日現在の交通事故による死者数  
→ 60人（全国ワースト3）

## 府警の意見

現下の厳しい犯罪情勢等にかんがみ、府民生活の安全を確保するため、警察官の減員を受け入れることはできない。

知事と部局長との議論資料

|      |        |
|------|--------|
| 部局名  | 公安委員会  |
| 担当課名 | 警務部警務課 |
| 担当者名 | 小竹 斎   |
| 内線   | 26107  |

【事務事業、出資法人、公の施設】

|        |   |
|--------|---|
| 項目名    | 【主要検討項目 29】 第二枚方警察署（仮称）新設事業の延伸  |
| 部局の考え方 | <div data-bbox="399 533 1444 936" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>枚方警察署管内の厳しい治安情勢に対して、府民の期待に十分に答えられる警察活動を行うことは、ほぼ限界の状態にあり、事業延伸は到底受け容れられず、計画どおり推進する必要がある。</p> </div> <p>○ 地元及び関係団体等からの警察署新設要望は、約20年の長きに亘り、この間の措置として、署員の増員、警察装備の増強、交番の新設、本部所属部隊の投入など可能な限りの施策を講じてきたところである。<br/>したがって、これ以上、府民・住民に負担を強いる状況を続けることはできず、事業の延伸は警察本部として到底受け容れることはできない。</p> |
| 参考データ等 | 枚方警察署の突出して厳しい現状（別添資料のとおり）   |

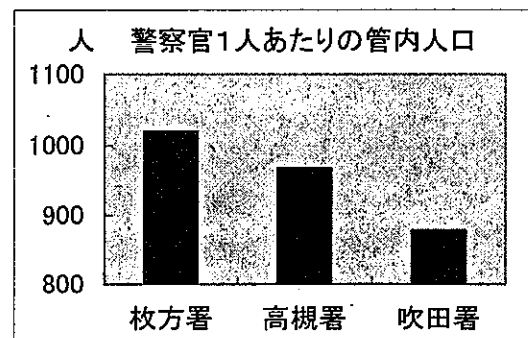
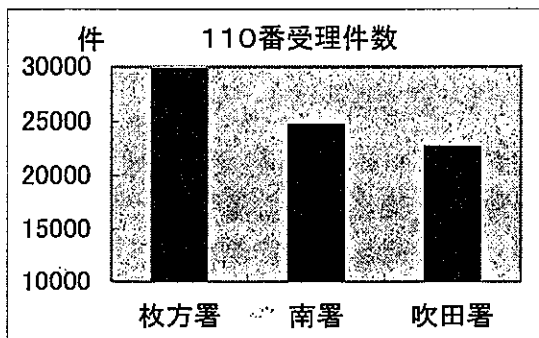
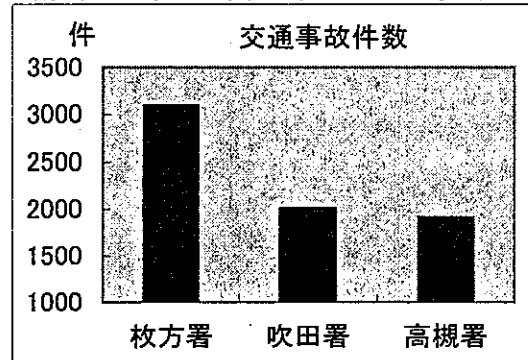
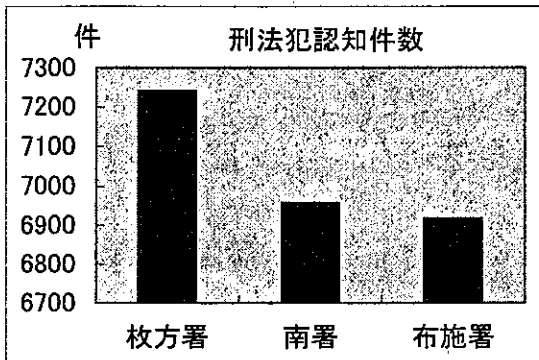
## 大阪府改革PT財政再建プログラム試案

- ・ 第二枚方警察署（仮称）新設事業の20年度における凍結
- ・ それ以降の警察署建て替え等を当面見合わせ

### 現状及び考慮すべき点

#### ◇ 枚方署の突出して厳しい現状→警察活動は限界の状態

＜府内上位3署比較（H19年）＞

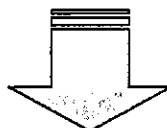


※ H19年中のレスポンスタイム6分58秒（府下平均5分44秒）は豊能署、和泉署に続く府下ワースト3位

※ 管内面積の広さ90.63km<sup>2</sup>（府下平均29.64km<sup>2</sup>）は府下6位と大きい。

#### ◇ 第二枚方警察署（仮称）新設に係る長年の検討経緯、地元住民・自治体等からの強い要望

- H 2年 府議会において地元議員が枚方署の分割を要望
- H 5年 交野市議会が分割署の新設要望
- H 7年 枚方市長が枚方署の分割化を要望
- H14年 管轄区域の分割に必要な境界線を決定
- H17年 第二枚方警察署（仮称）の所在地を決定
- H19年 用地取得



### 府警の意見

第二枚方警察署（仮称）新設事業の凍結を受け入れることはできない。警察署、交番等は地域の安全や防災の拠点であり、今後もその機能が発揮できるよう、計画的な整備を行う必要がある。